

2022年9月26日作成

Ver.1.0

心臓血管外科領域および整形外科領域の手術における術後感染予防のための抗MRSA薬併用の必要性の検討

1、研究の目的と意義

目的

心臓血管外科領域および整形外科領域の心臓手術、胸部大血管手術、人工関節置換術、インプラント挿入手術等のメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）感染ハイリスク手術（以下、ハイリスク手術）で、セファゾリン単独の手術と抗MRSA薬が併用された手術の手術部位感染の発生割合に差があるかを明らかにします。

意義

ハイリスク手術での抗MRSA薬併用の必要性を検討することができるようになります。

2、対象となる患者さん

2021年1月1日～2021年12月31日の期間に、当院に入院し心臓血管外科領域または整形外科領域でハイリスク手術を行った患者さん。

3、研究の方法

セファゾリン単独で手術をした症例と抗MRSA薬を併用して手術をした症例のそれぞれの手術部位感染の発生割合を算出し比較を行います。

4、研究に用いる情報

本研究は当院の電子カルテから以下の情報を収集して行います。

- ・患者背景
- ・手術情報
- ・血液検査値
- ・微生物検査
- ・使用した薬剤の情報

本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

5、研究期間

研究機関長の許可日～2024年12月31日

6、外部への情報の提供

該当なし

7、研究実施体制

この研究は長崎大学病院のみで実施する研究です。

《研究責任者》

長崎大学病院 薬剤部 今村 政信

8.お問い合わせ先

長崎大学病院 薬剤部 今村 政信

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号

電話：095（819）7248 FAX 095（819）7251

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616

受付時間：月～金 9：00～17：00（祝・祭日を除く）